



沼澤 道也 議員

発想の転換をする職員育成について

沼澤議員 人口減少、高齢化等、時代の変化はさまざまな状況の中での職員育成をどのように考えているか。

総合政策課長 令和4年度から職員プロジェクトチームを設け、課題解決と前年踏襲主義からの脱却を目指す職員育成に努めている。

令和6年度は、7つのプロジェクトを各課から選抜されたチームで財政確保や職員の負担軽減を事業見直しとともに議論し、発表を行っている。

令和4年度は人口減少カーブの抑制と町民所得の向上、令和5年度はグリーンバレー神室の運営、旧中央公民館跡地利用などをテーマとした。

令和7年度は、手法を変えAチーム「人口減少カーブの緩和について」10名で、Bチームは「役場窓口改革・機構改革について」21名の職員で事

発想の転換をする職員育成は

課題を自ら考え行動する職員へ

業提案を成すべく2月17日付けで設置した。

沼澤議員 今後の職員像は、変化へ対応できる柔軟な質が求められる。町の現場からの発想に期待する。

総合政策課長 時代や環境の変化は早いし、町民の構造変化も大きい実態にある。プロジェクト活動を中心にした職員の意識変化を生み、現場主義にも配慮した職員育成に努めていきたい。

なお、町では「人材育成・確保基本方針」を策定している。



今年の白銀スキー大会は

総務文教常任委員会

問 白銀スキー大会の参加者が金山から13名で、6年生は男女で4名だけだったようだ。

答 フロカンスキーの衰退は、他の自治体でも感じられる。楽しみつつ、学年が上がるにつれて上達できるように取組を拡大できるように学校と連携していきたい。

問 緊急救助援助隊北海道東北ブロック合同訓練の内容は。

答 旧中田小学校が予定されている。訓練内容としては、大震災が発生し、建物の中にいる救助者を搬出して病院まで搬送するというもの。

問 絵画などが地下の書庫にある。財産の一覧として整理されているのか。

答 100周年記念事業で、旧明安小、改善センターに展示した。主要な絵画などは、写真付きで一覧を作成している。時間をかけて整理して台帳を作っていく。



第68回 白銀少年スキー選手権大会

問 みらい留学生の食事や寮についての要望などはないか。

答 スタッフと寮生の一緒にいる時間は、食事の時間のみだが、あまり厳しくせず自由な時間は学生としての時間も楽しんで欲しい。後輩もでき、来年度から3棟体制になる。スムーズな運営を行ってきたい。



矢口 政一 議員

町で医師の誕生・育成支援策はできないのか

矢口議員 子ども達が、目標を定めて、挑戦可能な支援制度を町が整備できないか。

町長 現時点では、町の奨学金や県の支援制度の活用、あるいは、大学ごとに奨学金制度も充実している。町単独の支援策の拡大設置は、難しい状況にある。

「金山町の風景と調和した街並み景観条例」の存続策は

矢口議員 「景観条例」現基準の緩和・改正があるのか。

町長 景観助成金を令和7年度から、2回目以降も対象、3分の1以内、15万円限度に拡充、また、景観条例に合致した事業所も対象になる制度改正を、景観審議会に諮問する。

医師の育成支援を

充実した現制度を活用

矢口議員 役場庁舎非常用電源装置設置事業に関して、町長と、3人の専門委員の条例に対する認識の相違を伺う。

町長 町のやり方が、条例に反するとは判断していない。

専門委員の先生方は、条例にふさわしくない施設になると捉えている部分は否定できない。事業推進に当たり、話し合いを重ねているが、了解を得ていない現状なので反省材料にする。



町立金山診療所所長 今井洋汰医師

若者世代が求む街並み景観助成制度を

産業厚生常任委員会

問 新築住宅数の減少は、移住定住を考える若者世代に合った制度設計に変化すべき時期を迎えたのでは。

答 街並み景観助成の今の基準が若者世代の障害と考えられ、方向性について景観審議会の中で検討を継続する。

問 降雪状況を鑑みて、町所有施設の雪下ろしをするタイミング等の基準はあるのか。

答 各課で所管する施設の危険度も異なるが、適切な判断で実施している。

問 魅力を感じる新規就農者への支援の方向性は。

答 最上管内でも独自支援を実施している自治体があり、町独自の小規模農業機械補助を継続し、意見交換を重ね検討中。



問 診療所高橋先生の研究は町民の健康長寿を考え、予防医学の分野で参考になるのでは。

答 大腸がん健診での年齢層の分析や擬陽性後のフォロー体制について、今後の事業に活かす。